



日時：令和6年11月18日（月）9時30分～
場所：本庁舎4階403会議室

議事次第

- 1 会議の目的 **【危機管理監】**
- 2 災害対策本部における復旧対策等の実施状況
【災害対策本部事務局】
- 3 各部等における復旧対策等の実施状況 **【各部等】**
- 4 今回の災害対応に係る検証について
【災害対策本部事務局】
- 5 災害対策本部長指示
- 6 連絡事項 **【危機管理監】**

1 会議の目的

令和6年8月27日(火)の大雨災害における復旧対策の実施状況を報告するとともに、今回の災害対応に係る検証の実施状況等について報告するもの。

2 災害対策本部における復旧対策等の実施状況

(1) 被害状況等の把握・整理 (令和6年11月14日(木)午後5時時点)

区分		件数	対応中	済	対応済割合 (11/14時点)	対応済割合 (9/24時点)	増減	主な内容等
住家被害	床上浸水	26	1	25	96%	84%	12%	土砂撤去の完了
	床下浸水	38	3	35	92%	85%	7%	土砂撤去の完了
	土砂流入	11	4	7	64%	50%	14%	土砂撤去の完了
	その他被害	10	2	8	80%	80%	0%	
公共施設被害		21	7	14	67%	67%	0%	
その他建物被害		3	0	3	100%	67%	33%	土砂撤去の完了、補助金の交付決定
敷地内土砂崩れ		11	0	11	100%	70%	30%	土砂撤去の完了、応急対応の完了
道路被害	国道	8	0	8	100%	100%	0%	
	県道	4	0	4	100%	100%	0%	
	市道	86	11	75	87%	85%	2%	土砂撤去の完了、土嚢の設置
	林道	29	9	20	69%	69%	0%	
	農道	8	4	4	50%	50%	0%	
	その他	7	1	6	86%	71%	14%	直営で復旧完了
農地被害		64	46	18	28%	22%	6%	説明会の実施、補助金資料配布
水道施設被害		4	2	2	50%	50%	0%	
河川関係		41	21	20	49%	39%	10%	土砂撤去の完了
合計		371	111	260	70%	64%	6%	

※ 詳細は、「【別紙1】令和6年8月27日大雨災害 被害状況一覧」を参照

2 災害対策本部における復旧対策等の実施状況

(2) 孤立世帯

	地区 (世帯ごと)	9月1日(日) 時点	9月17日(火) 時点	9月26日(木) 時点	11月14日(木) 時点	備考
1	上米内字畑井野	1世帯2名	1世帯2名	1世帯2名	1世帯2名	8名は公営住宅等へ避難中 10名が自宅で生活中 ※ 対応が分かれている世帯があるため人数で表記
2	上米内字畑	1世帯2名	1世帯10名	1世帯10名	1世帯10名	
3	浅岸字赤重	1世帯2名	1世帯2名	1世帯2名	1世帯2名	
4	浅岸字赤重	1世帯1名	1世帯1名	1世帯1名	1世帯1名	
5	浅岸字赤重	1世帯1名	1世帯1名	1世帯1名	1世帯1名	
6	浅岸字鍋倉	1世帯1名	1世帯1名	1世帯1名	1世帯1名	
7	上米内字畑		1世帯1名	1世帯1名	1世帯1名	
	合計	6世帯9名	7世帯18名	7世帯18名	7世帯18名	

※ 畑橋を除き、道路や林道等は仮復旧済みであるが、地域住民及び関係者以外の車両の通行を規制していることから、孤立世帯として取り扱っているもの。

※ 孤立地域の治安維持のため、盛岡東警察署において巡回を行っている。

2 災害対策本部における復旧対策等の実施状況

(4) 盛岡市議会災害対策会議からの要望書（9月30日）

被災地域の一日も早い復旧と、災害に強いまちの実現のため、被災者支援、市民等への情報発信、防災体制及びその他の事項について、積極的な措置を講じるよう計38の要望があり、関係各部に送付した。

(要望内容抜粋)

- ・ 災害復旧に係る財源について、国・県・市の財政負担を早急に算定し、速やかに復旧工事等を行うこと。また、国への財政支援等の要望活動を積極的に行うこと。
- ・ 今回の災害における避難所の支援体制の検証を行うとともに、災害発生から避難所開設、避難者の支援まで、あらゆる災害（地震、水害、火災等）を想定した訓練を市において定期的に行い、福祉避難所を含めた避難所が円滑に開設できるよう体制強化を図ること。

令和6年9月30日

盛岡市災害対策本部
本部長 盛岡市長 内 館 茂 様

令和6年8月27日の大雨災害
に関する要望書

盛岡市議会災害対策会議
盛岡市議会議長 遠 藤 政 幸

2 災害対策本部における復旧対策等の実施状況

(5) 復旧、支援等に係る要望活動

被害を受けた地域の復旧・復興に向け、激甚災害の指定及び災害応急対策等への財政支援等について要望活動を行った。

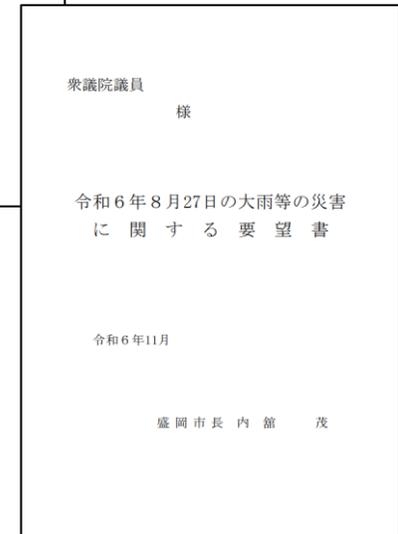
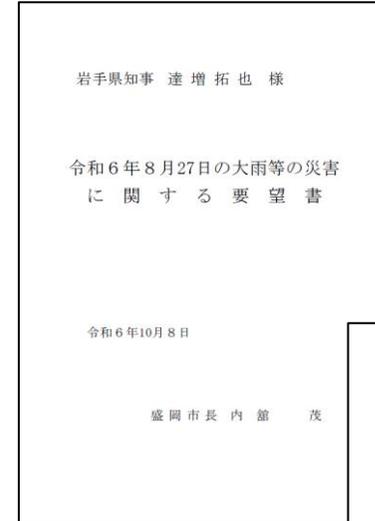
<これまでの要望活動>

- 令和6年10月4日（金） 自由民主党岩手県支部連合会
- 令和6年10月8日（火） 岩手県知事
- 令和6年11月8日（金） 県選出国會議員への要望
※ 東京事務所を通じて実施

<主な要望内容>

- 1 災害応急対策等への財政支援
- 2 土木関係
 - (1) 災害復旧事業予算の確保と早期復旧への支援
 - (2) 国庫補助事業の採択要件の緩和等
- 3 被災住宅等の復旧に向けた対策

参考：県知事への要望書



参考：県選出国會議員への要望書

3 各部等における復旧対策等の実施状況

(1) 実施状況

(11月14日時点)

部名等	実施状況（抜粋）
市長公室部	個人版ふるさと納税での災害支援特設ページの開設、市ホームページ等での情報発信
総務部	各部間応援調整
財政部	罹災証明書の発行、市税の減免・納税猶予等
市民部	避難所運営、国保税の減免・納税猶予等
環境部	災害廃棄物の処理等
保健福祉部	避難所運営、水害時衛生対策（消毒液配布）、ボランティア活動調整、介護保険料の減免・納税猶予等
子ども未来部	避難所の運営
商工労働部	商店街及び工業団地の被害状況の現地調査等
農林部	被災農地・農業用施設の現地調査、林道等の復旧等
建設部	市道等の復旧、市管理河川・水路損傷個所の復旧、仮設住宅入居等
都市整備部	宅地に流入した土砂の撤去等
玉山総合事務所	避難所運営、玉山地域の災害復旧
出納部	義援金受入れに関する情報収集
上下水道部	水道施設の復旧、水道料金等の減免、井戸水使用世帯への応急給水、水路の溢水への対応等
教育部	避難所運営等、通学・通園支援

3 各部等における復旧対策等の実施状況

(11月14日時点)

(2) 被害、復旧等見込額

(千円)

区分	被害見込額 (復旧見込額含む) 9月20日時点	被害見込額 (復旧見込額含む) 11月14日時点	増減	主な増減理由
市道	439,000	573,039	134,039	市道日戸柴沢線における事業費の増
林道	449,700	427,000	△22,700	百目木橋周辺仮復旧に係る事業費の増 畑橋復旧に係る事業費の減
農地・農業施設	471,000	158,754	△312,246	上米内字野頭等土砂撤去に係る事業費の増 農道南中野線法面復旧に係る事業費の減
河川	439,300	154,688	△284,612	山谷川目川の法面崩落復旧に係る事業費の減
水道施設	335,000	235,197	△99,803	水道施設(取水施設等)復旧に係る事業費の減
その他	31,713	40,968	9,255	宅地内堆積土砂搬出に係る事業費の増
合計	2,165,713	1,589,646	△576,067	

⇒現地調査による事業費の変更などにより、合計では576,067千円減となった。

3 各部等における復旧対策等の実施状況

(3) 激甚災害の指定状況

令和6年8月27日（火）の大雨を含む暴風雨及び豪雨災害について、激甚災害に指定する政令が10月30日（水）に公布・施行され、復旧事業等に対する補助率の嵩上げ等が図られることとなった。

「令和六年八月二十六日から九月三日までの間の暴風雨及び豪雨による災害についての激甚災害並びにこれに対し適用すべき措置の指定に関する政令」について

1. 激甚災害の指定

令和六年八月二十六日から九月三日までの間の暴風雨及び豪雨による災害
（※令和6年台風第10号の暴風雨等による災害）

2. 適用措置の指定

【本激】

① 農地等の災害復旧事業等に係る補助の特別措置（法第5条）

農地、農道や水路などの農業用施設及び林道の災害復旧事業等について、農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律等に基づく通常の国庫補助率を嵩上げ（過去5カ年の実績の平均では農地は86%→96%に嵩上げ）※1

② 農林水産業共同利用施設災害復旧事業費の補助の特例（法第6条）※2

農業協同組合、漁業協同組合等が所有する倉庫、共同作業場等の共同利用施設の災害復旧事業について、通常の国庫補助率を嵩上げ。（通常20%→最高90%）

③ 小災害債に係る元利償還金の基準財政需要額への算入等（法24条第2項～第4項）※3

国庫補助の対象とならない小規模な農地等の災害復旧事業に係る地方債の元利償還金を基準財政需要額に算入。

【当市の対応状況及び今後の予定】

1 農地（玉山分含む）

- ア 9月26日 災害報告
- イ 11月26日～28日 災害査定
- ウ 令和7年3月 補助金交付申請

2 林道

- ア 9月26日 災害報告
- イ 11月25日～12月10日 災害査定
- ウ 令和7年3月 補助金交付申請

※1 括弧内の補助率は例示であり、各項目（農地など）の補助率は災害査定後に確定。

※2 当市では被害を受けた対象施設がないため非該当。

※3 現在、交付要件に該当するか確認中。

3 各部等における復旧対策等の実施状況

(4) 工程表 (要約) 《市実施分》 (11月14日時点)

地域	区分	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R7年度以降
上米内	市道 (補助)	仮復旧	測量・用地測量・設計					本復旧		
	林道 (補助・単独)	仮復旧		測量・設計				本復旧		
	林道【畑橋】 (補助・単独)		仮復旧測量	仮復旧				本復旧測量・設計		本復旧 当初の予定
	河川 (単独)					米内川支流損傷箇所の復旧			当初の予定	
川目・東安庭	市道 (単独)	仮復旧				本復旧				
玉山 (山谷川目)	市道・河川 (補助)	仮復旧		測量・設計				本復旧		
	市道・河川 (単独)	仮復旧				本復旧				
被災地全域	農地 (補助)				測量・設計			本復旧		一部は河川災と併せてR7中に復旧
	農地 (単独)					本復旧 (個人による復旧への支援)				

※ 表中の「(補助)」に関する「設計」には国の査定を受ける事務が含まれ、「本復旧」には契約に関する事務が含まれます。
 ※ 本表は、各部等からの情報を災害対策本部にて要約としてまとめたもの。

3 各部等における復旧対策等の実施状況

(5) 被害地域の地図

上米内周辺

孤立世帯状況図 (11月14日現在)
孤立世帯：7世帯18人

【道路の復旧状況】
 市道：市道上米内24号線及び25号線は仮復旧済み。
 林道：矢沢線【林道12】【林道13】は10月1日に仮復旧済み。
 ※仮復旧中の林道の通行は、原則住民のみに制限



【孤立⑦】上米内字畑

【孤立②】上米内字畑

【孤立③】浅岸字赤重

【孤立④】浅岸字赤重

【孤立⑤】浅岸字赤重

【孤立⑥】浅岸字鍋倉

【孤立①】米内沢字畑居野

【林道01～11-3】米内川線
 【林道12～13】矢沢線
 【林道14】高森山線

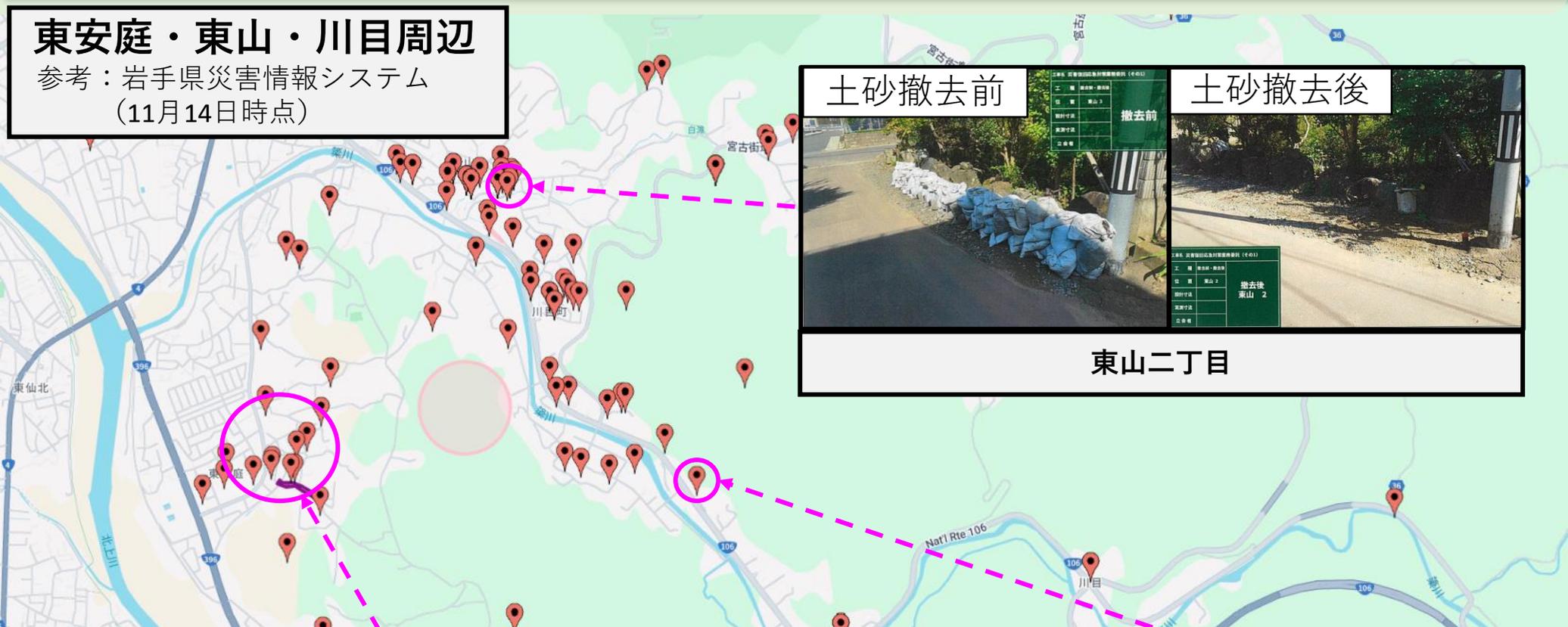
《凡例》
 ✖ 車両通行不能
 ⊗ 通行止め
 ● 孤立世帯



令和6年8月27日大雨等 第5回災害対策本部員会議

東安庭・東山・川目周辺

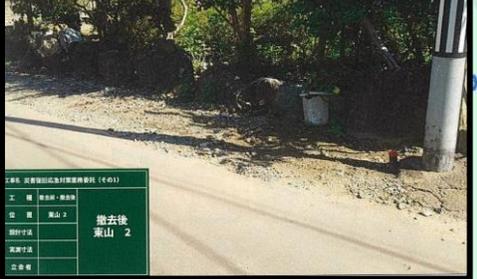
参考：岩手県災害情報システム
(11月14日時点)



土砂撤去前



土砂撤去後



東山二丁目

復旧前



復旧後



市道東安庭6号線

土砂撤去前



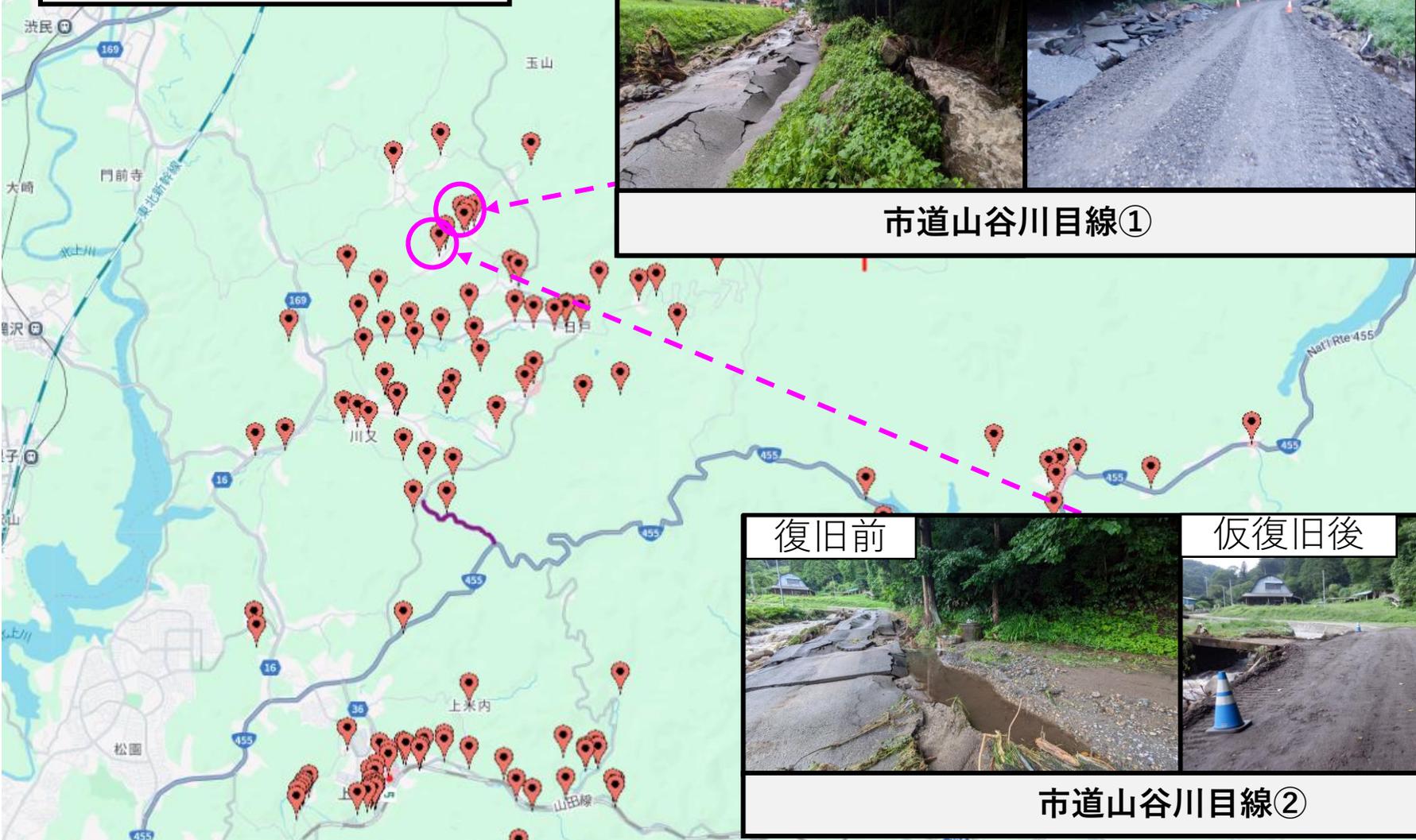
土砂撤去後



川目第11地割

玉山地域周辺

参考：岩手県災害情報システム
(11月14日時点)



復旧前



仮復旧後



市道山谷川目線①

復旧前



仮復旧後



市道山谷川目線②

4 今回の災害対応に係る検証について

(1) 検証の目的

今回の災害対応において、初動対応、避難情報の発信等様々な課題が生じたことから、十分な検証を行い、今後の災害等への対応の改善を図ることを目的とする。

(2) 検証の方法

ア 課題の検討（10月3日（木）～15日（火）実施済）

庁内各部等に対し、課題や今後の対策等について照会し、抽出を図った。また、防災会議委員に対し、課題を照会し、抽出を図った。併せて、各種要望等について、検証項目に反映した。

イ 課題の整理・対応策の検討（10月15日（火）～30日（水）実施済）

抽出した課題について集約整理を行った上で、災害対策本部事務局において課題の対応策を検討した。

ウ 庁内各部等による意見反映（10月31日（木）実施済）

危機管理連絡会議（各部次長等で構成）を開催し、検証を行った。

エ 防災関係機関からの意見聴取（11月1日（金）～8日（金）実施済）

庁内で整理した課題及び対応策について、防災関係機関からの意見聴取を行った。

※ 防災関係機関…岩手河川国道事務所、北上川ダム統合管理事務所、盛岡地方気象台、岩手県復興防災部、岩手県県土整備部、岩手県盛岡広域振興局土木部

4 今回の災害対応に係る検証について

オ 外部有識者からの意見聴取（11月5日（火）及び8日（金）に実施済）
庁内等で整理した課題及び対応策について、外部有識者からの意見聴取を行う。

- ・ 11月5日（火） 岩手県立大学 防災復興支援センター 杉安 和也 副センター長
 - ① 今回の災害の被害規模等がどの程度か、過去に盛岡市で発生した災害と比較できると、より分かりやすいのではないか。
 - ② 市民からの被害状況の報告について、電話以外での報告方法の仕組みづくりも必要ではないか。
 - ③ 報道機関への情報提供については、毎時提供する場を設けるなど対応について整理する必要があるのではないか。
- ・ 11月8日（金） 岩手大学 地域防災研究センター 福留 邦洋 教授
 - ① この検証は、誰（市民向け、庁内向け）に対する検証報告なのか明確にした方がよいのではないか。
 - ② 検証の範囲は、明確にしておくとのよいのでは。（例えば、主目的を初動対応の検証とし、発災から9月末までの約1か月に区切った大雨災害の対応に限定するなど）
 - ③ 対策について、実施可能なものなのか検討のうえ記載するべきではないか。

4 今回の災害対応に係る検証について

(3) 今後のスケジュール（予定）

12月2日（月） 第6回災害対策本部員会議（内部検証）

12月13日（金） 検証会議（外部有識者及び防災関係機関等による検証）

※令和7年1月以降、検証結果等を踏まえ、市地域防災計画や市災害対策本部規程等の見直しを実施する予定。

5 災害対策本部長指示

被災された方々が一日も早く日常を取り戻せるよう、引き続き各部等が連携して復旧対策を推進すること。

また、今回の災害対応で生じた課題等について十分な検証を行い、今後の対応の改善を図るとともに、いざという時の対応に万全を期すこと。

6 連絡事項

今後の予定について

- 11月22日(金) 全員協議会 (復旧状況等報告)
- 12月2日(月) 第6回災害対策本部員会議 (検証について)
- (12月13日(金) 検証会議)